

市内の小中学校では、子どもたちや地域の特性を活かした特色ある教育活動を実施しています。「魅力ある学校づくり」・「子どもたち一人ひとりが学校に行くことが楽しくてたまらないような学校づくり」を目指しています。問合せ／指導室

羽村東小学校

●校長／斎藤 謙 ●副校長／大河原 恵子
●児童数／477人

羽村東小学校は、「地域の風が通る、楽しい学校」を目指しています。一人ひとりの子どもたちに確かな学力を身に付けさせたい。元気いっぱい遊んでほしい。その中から友達を思いやったり助け合ったりと、いろいろな体験を積んでほしいと願っています。夏季休業中のサマーセカンドスクール、10月22日の東小地域フェスティバル等、どれも学校が発信源になり、地域や保護者の方々と共に歩む教育活動を開催しています。



東小地域フェスティバル



頑張ってます! 西小金管バンド

羽村西小学校

●校長／藤本 三征男 ●副校長／横山 彰
●児童数／495人

豊かな表現のできる子を育成しています

- 29名の新しい仲間を迎え、金管バンドの演奏活動が始まりました。今年も楽しみです。
- 音楽集会・ダンス集会では全身を使って、表現する楽しみを味わっています。
- スピーチタイムでは、相手に伝わった喜びを感じる話し方を学習しています。
- 合唱発表会を計画しており、歌声がいつも学校に響いています。西小学芸会も評判が高いです。
- メロン、ゴーヤ、トウモロコシを慈しんで育てています。作物は子どもが汗で表現した作品です。

富士見小学校

●校長／島田 定 ●副校長／清水 裕
●児童数／675人

本校では、【どの子もみんな 自分の子 共に育てよう 富士見っ子】を子育ての基本的な理念としています。
そして、めざす学校は、

子どもの心とやる気を大切にする学校

子どもへの指導を大切にする学校

心の豊かな子どもを育てる学校

心身ともに健康でたくましい子どもを育てる学校

【研究校よりも実践校をめざす】——平成17年度・18年度は『羽村市教育研究指定校』に指定されています。

実践こそ教員としての力量を高める原点と考え、授業改善に取り組み、子どもたちの「確かな学力」が身につくように、1時間1時間の授業を充実させます。



読書コーナー(特色ある教育活動)



運動会(5.6年生組体操)

栄小学校

●校長／水野 孝一 ●副校長／吉澤 淳
●児童数／437人

83名の新1年生を迎える437名の子どもたちで、平成17年度の栄小学校はスタートしました。また、今年度は、「くぬぎ学級(心身障害学級)」が新設されました。子どもたちは、いっぱいの花に囲まれて、元気にあいさつし、学習し、運動しています。本校では、『あたりまえのことがあたりまえにできる子ども』の育成を目指し、2学期制で得られる、ゆっくりとした時間の中で子どもたちの確かな歩みを全職員で支える学校教育を推進しています。



動物園を探検しよう(1.2年生生活科)－羽村動物公園にて－

松林小学校

●校長／森田 克巳 ●副校長／杉本 一郎
●児童数／244人

本年度の教育目標は『よいこがつくる美しい学校「よく考える子」「いつも元気な子」「こころのやさしい子」』です。いつでも、どこでも、だれにでも、覚えやすく分かりやすい表現にしました。学校生活全体の中で、「あいさつをする」「約束やルールを守る」など基本的な生活習慣を大切にするとともに、学習にしっかり取り組むこと、活き活きと活動すること、相手のことを考えて助け合い協力し合うことを進めています。

学校紹介



朝の風景

小作台小学校

- 校長／曾我部 多美
- 副校長／大島 一夫
- 児童数／511人

毎朝、代表委員会の子どもたちや先生たちが「おはようございます」と言って、昇降口や教室で、登校する子どもたちを迎えていました。子どもたちが、「かがやく」(笑顔いっぱい)、「のびる」(生き生きと)、「かかわる」(いつもチャレンジ)元気な学校です。

学校農園では、学習のため、地域の方との収穫祭のためにいろいろな作物を栽培しています。学校・地域の美化のため、花も育てています。



アメリカベーバー舎で清掃体験活動（羽村市動物公園）

武蔵野小学校

- 校長／高見 徳
- 副校長／赤松 優
- 児童数／565人



新入生歓迎会（部活紹介）

羽村第一中学校

- 校長／中村 清
- 副校長／石塚 克美
- 生徒数／656人

習熟度別少人数授業、チームティーチングや選択教科などの指導法の改善を通して、基礎的・基本的な学力の定着を図り、また、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、発展的な学習などの多様な指導を行っています。地域・保護者の方々の協力のもと、生徒は、一中の象徴である「どちの木」のように、のびのびと素直でおおらかであり、合唱コンクールや体育大会等の学校行事や生徒会活動、部活動にも積極的に取り組んでいます。

羽村第二中学校

- 校長／須藤 芳正
- 副校長／斎川 喜信
- 生徒数／521人

《特色ある教育活動》

本校では、特色ある学校づくりに向けて下記のような取り組みを行っています。

1. 地域から学び、地域に還元する教育活動を推進する

- 盆踊り等の町内会行事への参加を通した教育活動の推進
- 地域の方を講師に迎え、「音楽のあふれる学校づくり」「TTによる家庭科調理実習」の推進
- JOCA（青年海外協力協会）等を活用した国際理解教育の推進

2. 英語教育のより一層の充実を図る

- 英語習熟度別少人数授業の全学年実施
- 外国人講師の活用（AET）
- 小学校への訪問授業の実施



外部人材を活用したチームティーチング（音楽）

3. 生涯学習の基礎を築くため、読書活動や情報教育の充実を図る

- 地域の方の協力を得、図書室の利用の活性化を図る（図書室ボランティア）
- 朝読書の充実
- 羽村図書館の方を招いた図書館授業の実施（羽村図書館との連携）



カリオの鐘（卒業生歓送）

羽村第三中学校

- 校長／瀧島 薫
- 副校長／愛甲 慎二
- 生徒数／446人

廊下を歩いていると、「おはようございます」、「こんにちは」といった子ども達の明るく元気なあいさつが聞こえています。部活動も盛んで、関東大会に出場する部もあります。

本校では、平成16年度よりキャリア教育地域指定を受けて、進路指導に力を入れています。

1. 小中連携の9年間でゆとりを持った教育を計画しています。
2. ピア・サポートを導入し、心の教育と意志決定のプロセスを学び、自分の考えを上手に伝える学習を実践しています。
3. のびのび職場体験ウィークの実現に向けて、取り組んでいます。
4. 学力の基礎・基本の定着を図るために、振り返りタイムを新設しました。朝の読書と併せて落ち着いた取り組みができるています。

青少年の健全な育成をめざして

「生涯学びづける人」を支援する、それが生涯学習課です。

講座で学ぶ人、コンサートで感性を磨く人、自ら企画する喜びを追及する人。

発展途上の青少年も例外ではありません。青少年の健全な育成をサポートするため、生涯学習課ではさまざまな事業を行っています。今回はその主なものをお知らせします。

①少年少女球技大会（7月）

地域の子どもたちがチームを作つて、男子はソフトボール、女子はキックボールで対戦する、夏の大きなイベントのひとつです。

人とも交流が持て、人間関係の幅が広がります。

②洋上セミナー（8月）

小・中学生の部と青年の部（高校生・大学生）を実施しています。小・中学生の部では八丈島へ、青年の部では小笠原へ行きます。

さまざまな体験を通じて、将来のリ



洋上セミナー（小笠原）

子ども体験セミナー



青少年フェスティバル

④青少年健全育成の日（11月）

毎年秋に行っています。この日には、青少年の健全育成に尽力いたした方や、地域で活躍した児童生徒の表彰を行う「健全育成の集い」また、地区委員会ごとに子どもたちが企画・運営する模擬店が並ぶ「青少年フェスティバル」が実施されます。

⑤青少年問題協議会

教育関係者、警察関係者、地域代表の方などで構成された協議会で、最近の青少年の現状についての情報を収集・交換し、青少年の健全育成を図ります。

⑥青少年育成委員会

委員は福生警察署の同行のもと、市の店舗等のパトロールや有害図書の追放、ゲームセンターの立入り調査、公園等のパトロールなどを行っています。

青少年の非行を未然に防ぐため、町内会・自治会より推薦を受けた38人の方で組織されています。

委員は福生警察署の同行のもと、市の店舗等のパトロールや有害図書の追放、ゲームセンターの立入り調査、公園等のパトロールなどを行っています。また、道路に表示されている捨て看板の撤去、秋の花いっぱい運動での環境美化なども行っています。

⑦青少年対策地区委員会

市内の小学校区ごとに設置されている7地区委員会では、地区内のPTAや町内会・自治会と協力し、地域の交流事業などを実施しています。また、夏と秋の稻作体験事業や夏の少年少女球技大会なども市と協力して実施しています。

キャンプや釣りなどで自然に触れたり、横田基地での国際交流を通じて、自立心を発掘するセミナーです。難しい理屈は抜きで、子どもたちが体当たりで楽しむことができます。

他に、多摩川や公共施設等の清掃を行いう「社会参加実践活動」も7月に実施しています。

子どもに読書を

羽村市子ども読書活動推進計画を策定しました

子どもの心の発達にとって、本を読むことは、とても大切です。羽村市では、子どもの自主的な読書を支援し、家庭や学校・地域で読書を活発にするための支援計画をまとめました。

○具体的な取り組み

●家庭・地域で……

- ①子育てに絵本をもっと取り入れよう。本との出会いは家庭から。
- ②保健センターや保育園で絵本を展示し、本を手にとる機会を充実します。

●図書館で……

- ①本館・分室の児童書を充実します。
- ②絵本コーナーやブックスタートで楽しい絵本を紹介し、おはなし会を充実します。
- ③学校の調べ学習を援助するため資料を充実します。
- ④学校へ出向いておはなし会を行います。
- ⑤中高校生(ヤングアダルト)コーナーを充実、ボランティア活動も受け入れます。

●学校で……

- ①読書月間や朝の読書など、読書の楽しさを体験する取り組みをすすめます。
- ②ボランティアの方々とも協働し魅力ある学校図書館をめざします。



●子ども関連施設で……

- ①赤ちゃんにも絵本を～乳児健診時ブックスタートで絵本を紹介します。
- ②身近に絵本コーナーを～保育園や児童館、生涯学習施設(仮称)西棟など身近な所で本を手にし、催しを通して本の楽しさをPRしていきます。



○啓発の活動

- ①「子ども読書の日」(毎年4月23日)に行事を実施します。
- ②図書館+保護者の皆さんで「推薦図書リスト」を作ります。
- ③小中高校生の皆さんの図書館見学・職場体験を受け入れます。

○計画を推進するために

- ①市内のおはなしボランティアの情報交換・連絡会の発足をめざします。
- ②おはなし会について、職員出前講座を行います。
- ③市関連機関の連携のため、連絡会議を開催し計画の着実な実施をめざします。



「羽村市子ども読書活動推進計画」パンフレットを、図書館で配布中です。ご自由にご覧ください。



「市民の生涯スポーツ社会の実現」を目指して

幼児から高齢者まで、年齢や体力に応じてスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、さまざまな支援をしています。

スポーツ施設の管理・運営、スポーツ事業の開催、団体への支援、指導者の養成と活用などです。今回は、スポーツ施設を紹介いたしますので、ぜひご活用ください。

スポーツセンター

スポーツセンターは、開館24年目を迎え、年間175,000人もの多くの方にご利用いただいております。体育館は、バレーボール・バスケットボール・バドミントン・インディアカ・フットサルなど多種目にわたり利用できます。また、トレーニングルームでは、専属のトレーナーがエアロビクス（初心者・中級者・上級者向け）などの指導を行っており、大盛況。その他、健康体操、青竹＆ステップなどもあります。あなたも、体験してみませんか。



スイミングセンター



スイミングセンターは市民の皆様に愛され年間127,000人の方に利用されている屋内温水プールです。4月1日よりトレーニングルームをリニューアルし、機器は新品に総入れ替え、新たな専属のトレーナーの配置により、リフレッシュ。プール、サウナと合わせて、ご利用ください。

弓道場

あなたも「弓道」に挑戦してみませんか！

弓道場は、本年4月に小作浄水場のとなりにオープンいたしました。管理・運営は、NPO法人羽村市体育協会が指定管理者として行うことになりました。小学校5年生から高齢者の方までが利用できます。初めての方は、初心者弓道教室や個人開放日で指導を受けてください。



教・育・隨・想



教育長 角野征大

私は、「ゆとり教育」はいいと考えます。自然離れといふのは子どもの人格形成に影響します。外で遊び、群れるという自然、そういう「子どもの自然」を大切にした羽村の教育でありたい、と願っています。

「俺に似ろ、俺に似るなど子を思い」という言葉があります。森羅万象、わが子を思ひにはならず、親・大人のするように行動するというのも確かであります。わが子と共に考え、悩み、喜ぶ。共に活動し遊ぶ。単純明快なこのことが実は今、私たちに一番求められ、必要とされている具体的なことであると実感します。昔、親に、「よく食つて、よく寝て、よく遊べ。ひまがあつたら勉強しろ」と言われた記憶があります。今では懐かしい思い出であります。

「複眼的視点で、子どもを見たい」